



SAP Ariba 

# 機能の概要

## イタリアの SDI 請求書のサポート

Johan Holm, SAP Ariba  
一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

## 機能の概要

# 説明: イタリアの SDI 請求書のサポート

### 今までの課題

Ariba Network 経由で送信されるイタリアの SDI 請求書は、一般に、SAP Ariba Invoice ソリューションで必要とされる内容 (税額、申請者、注文書明細参照など) が不足しています。Ariba Network から受信する請求書も、SAP Ariba の請求書照合申請も編集不可のため、唯一の解決策は請求書を却下して、手動で作成することです。このため、処理に時間がかかり、顧客とサプライヤの不満が生じています。

### SAP Ariba で問題解決

請求書照合申請が作成される前に、経理部門でのイタリアの SDI 請求書の編集が可能となるように SAP Ariba Invoice ソリューションを設定することができるようになりました。そのため、権限を持つユーザーは、請求書ヘッダー詳細を編集したり、品目、値引き、手数料、税と税額、および源泉徴収税を追加したりすることができます。

さらに、会計を容易化するために、管理者は、まだ申請者が割り当てられていない SDI 請求書に通常の設定の申請者を割り当てることができます。

### 主なメリット

経理部門で、イタリアからの請求書を、Sistema di Interscambio (SDI) の要件に準拠するように編集できるようになりました。

### 対象ソリューション

- SAP Ariba Buying and Invoicing
- SAP Ariba Invoice Management

### 関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、**お客様が設定する必要があります。**

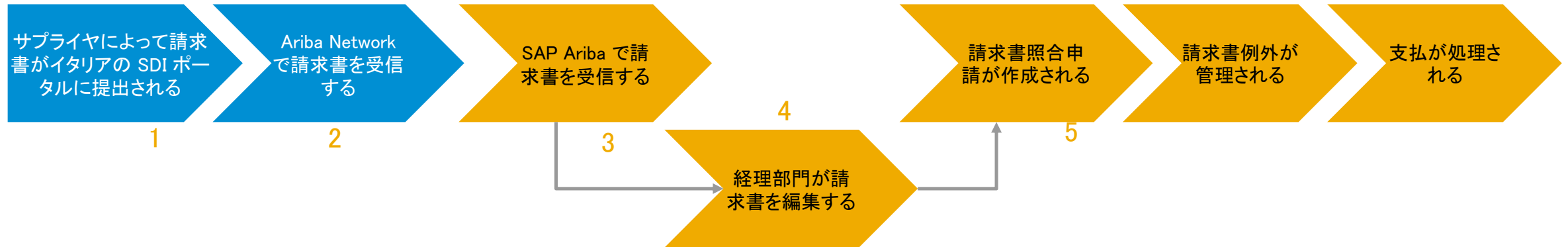
- Application.Invoicing.SDI.AllowEdit
- Application.Invoicing.SDI.DefaultRequester.UniqueName

### 前提条件と制限事項

お客様が SDI 請求書の請求書ドキュメント用のワークフローを設定する必要があります。

# 機能の概要

## プロセス: イタリアの SDI 請求書のサポート



1. イタリアは、2019年1月1日に、リアルタイムでの電子売上請求書の発行と報告を必須とする制度を導入しました。関連するすべての請求書を発行して、イタリア歳入庁の電子請求書処理プラットフォーム Sistema di Interscambio (SdI) に提出する必要があります。SdI は請求書承認ポータルとして機能し、すべての課税取引がイタリア税務当局によって確実に検証されるようになります。
2. Ariba Network は (TrustWeaver を介して) SDI と統合され、2018年12月にイタリアの SDI 向けのサポートが提供されています。
3. SAP Ariba Invoice ソリューションで請求書を受信します。SDI 請求書では TaxInvoiceFormat 'FPR' を使用しています。
4. 請求書ドキュメントは、(カスタムワークフローによって) 請求書を編集したり (パラメータ AllowEdit)、品目、値引き、手数料、税、および源泉徴収税を追加したりできる経理部門にルーティングされます。  
さらに、会計を容易化するために、管理者は、SDI 請求書に通常の設定の申請者を割り当てることができます (パラメータ DefaultRequester)。
5. 請求書が承認されると、請求書照合申請が作成され、プロセスが先に進みます。

## 機能の概要

### 有効化: イタリアの SDI 請求書のサポート

この機能を有効化するには、SAP Ariba で以下を設定する必要があります。

- a. パラメータ `Application.Invoicing.SDI.AllowEdit` を有効化します。ほとんどの SDI 請求書は、請求書処理ソリューションで要求される請求書書式に従って編集する必要があります。
- b. `Invoice.TaxInvoiceFormat = 'FPR'` の場合、関連グループ（通常、経理部門）を追加して 請求書を編集するための請求書ドキュメントのワークフローを設定します。
- c. (任意) 通常設定の購買ユニットおよび会計の取得が可能で、SDI 請求書の通常設定の申請者を参照するパラメータ `Application.Invoicing.SDI.DefaultRequester.UniqueName` を設定します。

*Ariba Network* からの *cXML* に含まれる *Extrinsic* データとして、SDI 請求書に関する請求書の詳細 (SDI 請求書番号など) が提供されます。この情報を SAP Ariba で使用できるようにし、表示されるようにするには、追加の設定が必要になる場合があります。

フォローをお願いします。



[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2019 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE がライセンスする、またはその頒布業者が頒布するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社の専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。こうした予測に基づく表明は、読者には過大に信頼しないよう注意していただく必要があります。また、こうした表明を購入時の意思決定における根拠とすることも望ましくありません。

SAP、ならびに本書に記載するその他の SAP の製品およびサービスは、そのそれぞれのロゴとともに、ドイツおよびその他の国々における SAP SE (または SAP 関連会社) の商標または登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、[www.sap.com/copyright](http://www.sap.com/copyright) をご覧ください。